

記者発表資料
令和6年9月4日
疾病・感染症対策課感染症対策第二班
担当:大石、阿部
電話:022-211-3644
situkan-k2@pref.miyagi.lg.jp

HPVワクチンの キャッチアップ接種について

希望者はお早めに！HPVワクチンのキャッチアップ接種

HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの定期接種の機会を逃した方を対象に、キャッチアップ接種を実施中です！

対象者 ・誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日
(平成9年度～平成19年度生まれ)の女性
※過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方

接種期間 令和7年3月末まで

費用 無料(公費負担)

- ▽ HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となるHPVへの感染を最大で約80～90%防ぐことができます。
- ▽ キャッチアップ接種の期間内に3回の接種完了を希望される場合には、**9月中に1回目の接種を受ける必要があります。**
※合計3回の接種を完了するまでに約6か月間かかります。

ワクチンの種類と接種スケジュール

公費の補助がない場合の接種費用は、サーバリックス®およびガーダシル®では3回接種で4～5万円、シルガード®9では3回接種で8～10万円、2回接種で5～7万円です。

<標準的な接種方法の例>

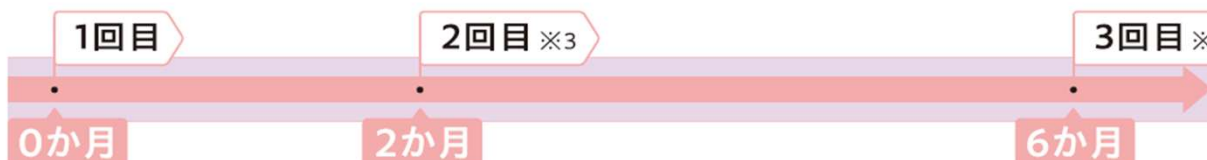
<標準的な接種方法をとれない場合>

サーバリックス®
2価ワクチン
(HPV16型、18型)



- ※1 1回目から1か月以上あける。
- ※2 1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上あける。

ガーダシル®
4価ワクチン
(HPV16型、18型)



- ※3 1回目から1か月以上あける。
- ※4 2回目から3か月以上あける。

シルガード®9
9価ワクチン
(HPV16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型)



- ※5 1回目から1か月以上あける。
- ※6 2回目から3か月以上あける。

※いずれも1年以内に接種を終えることが望ましい。 ※シルガード®9は、15歳未満のスケジュールが異なります。

具体的な接種方法は、お住まいの市町村からのお知らせや県ウェブサイトをご覧ください。



詳しくはこちら

ウイルス感染でおこる子宮頸がん

- ▽ 子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんで、HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。
- ▽ HPVは、“女性の多くが一生に一度は感染する”と言われるウイルスです。感染しても、ほとんどの人ではウイルスが自然に消えますが、一部の人で、がんになることがあります。
- ▽ ワクチン接種によって、HPVの感染を予防できます。

HPVワクチンの効果

- ▽ HPVの中には、子宮頸がんをおこしやすい種類(型)のものがあり、HPVワクチンは、このうち一部の感染を防ぐことができます。
- ▽ 現在、日本で接種できるワクチンは、防ごうことができるHPVの種類によって、3種類あります。
※2価・4価ワクチン:子宮頸がんの原因となるHPVへの感染を50~70%予防
9価ワクチン:子宮頸がんの原因となるHPVへの感染を80~90%予防
- ▽ また、HPVワクチンで、がんになる手前の状態(前がん病変)が減るとともに、がんそのものを予防する効果があることもわかってきています。

HPVワクチンのリスク

- ▽ ワクチン接種後の副反応として、接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状が起こることがあり、まれに呼吸困難など重い症状が起こることもあります。
※また、広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ等の多様な症状が報告されています。
- ▽ 重篤な症状の副反応として報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり約3~5人です。
- ▽ 接種後に気になる症状が現れた場合、接種を受けた医療機関などにご相談ください。